

2024～25年度 RIテーマの説明

大和田園ロータリークラブ
佐々木 辰郎



The ROSEN
SHINGLE CREEK

9939







今年度 R I 会長



マクマリー（McMurray）・ロータリークラブ
（米国ペンシルベニア州）会員であるステファニー
A. アーチュック氏が、会長指名委員会により2024-25
年度国際ロータリー会長に選ばれました。
アーチュック氏は女性として史上二人目の国際ロータ
リー会長となりました。

2024～25年度 R I テーマ

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック



ステファニー・アーチックRI会長

講演内容

1. 平和を優先する
2. ポリオの根絶
3. 継続と変化のバランス
4. DEIの重要性について



ステファニー・アーチックRI会長

重点テーマ

組織の再編



ロータリーのマジックとは

ロータリーは平和を優先し、継続と変化のバランスを取り、次世代のメンバーをオープンな心で迎える！



佐々木年度の方針



2024～25年度地区テーマ

ロータリーのマジックを
行動で示そう！



活動の指針



「The Magic of Rotary」 ロータリーのマジックの実践

皆さん、我々は魔法を使えるわけではありません、呪文を唱えるだけで会員の増強やポリオの根絶が出来るわけではありません！

我々会員個々が行動を起こし、プロジェクトを行い、募金や寄付を行う事により、そこにマジックが起こると信じます。

共に行動しましょう！

数値目標

1. 会員増強

1クラブ純増

2名目標

2. 寄付目標

ロータリー財団
ポリオ推進

200ドル/人
40ドル/人

各クラブ1名以上の恒久基金への寄付（ベネファクター1,000ドル）を奨励
米山記念奨学 20,000円以上/人（普通寄付+特別寄付）
5,000円以上/人（普通寄付目標）

寄付ゼロクラブのゼロ達成にご協力を！

3. マイロータリーへのクラブ数値目標記入100%目標（3年継続計画）

行動目標

1. クラブと地区の更なる連携強化。
(地区委員会とクラブ委員会の連携強化)
2. 地区委員会の見直しとメンバーのスリム化。
(約320名→183名)
3. ロータリーマジックの実施。
各クラブの実施プロジェクトの中で新鮮で、効果のあるプロジェクトにロータリーマジック賞を表彰し・紹介する。
4. 各クラブ1プロジェクトの実施の推進。
5. 会員増強・維持の為、増強に効果のあったクラブの**実施内容**を各クラブへの**紹介**と表彰。
6. ポリオ根絶のためのロータリーデーの開催。
7. カナダ・カルガリー世界大会への参加要請

クラブと地区の連携について

1. 各地区委員会はクラブ委員会との連携強化を図る。
即ち地区委員会の開催時に各クラブ委員の招集を多く計る。
各クラブへの出張勉強会よりも各クラブへの浸透強化の為同じ
会議でクラブ委員会を同時参加し検討・合意を図る。
2. その結果として地区委員の人数減少を各クラブ委員にて補充が
図れると考えます。
3. 結果として地区委員が少なくても各クラブへの浸透及び理解が
可能となるのでは？

ロータリーマジックの実践

各クラブのプロジェクト（各クラブ1プロジェクトの要請）の中で新鮮で、斬新な奉仕活動を地区のガバナー補佐、公共イメージ委員会、各奉仕委員会による会議にてロータリーマジック賞として地区での表彰式を行い、その様子をインスタやフェースブックに搭載し各クラブへの発信を行い、次への活動につなぎたいと考えます。



ローターデーの開催

各クラブ一斉の実践事業

平和フェローの研究内容の講演及び把握

ロータリーのマジックがいっぱい

2025年ロータリー国際大会

2025年6月21日～25日
カルガリー（カナダ）

[ご登録はこちら](#)



3年間の目標と計画

3-Year Rolling Target / Plan

国際ロータリーの理事会は、**活動や目標**の持続性を重要な課題と位置付け、2024 - 2025年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに対し理解と協力を要請しています。

これはクラブの発展と活性化のために行うものです。私たちが時代の変化とともに具体的に変化していくために、RIの提唱するこの方法を「**新たな挑戦のチャンス**」と捉え実践してみましましょう。

RI理事会による決定事項

3年間のグローバルトライアルを設定しそのプログラムを実施します。

- 1.2024年7月1日から、地区およびクラブに対する3年間の目標とローリングターゲット（年度毎に見直す）プランを実施します。**
- 2.Rotary club centralをマルチイヤーターゲットダッシュボード（複数年目標一覧表表示）として刷新し、組織的に目標を整える。**
- 3.上記をサポートするためにリサーチと学習プログラムを開発します。**
- 4.プログラムの評価を2027年から2028年にかけて行います。**



具体的にどうすれば良いでしょうか？ Rotary



クラブ

1. 3年間の目標入力と管理は「クラブセントラル」で行います。
クラブセントラルは現在RIによって3年間の目標が設定出来るように改造中ですのでまずは次年度の目標を入力してください。
2. 3年間の目標が入力（現在改造作業中）した後、理事会等の承認をを経てクラブ内で共有して下さい。
3年間の目標を設定する為には、向こう3年間に会長候補者や理事会を巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。（継続性）
3. 3年間の目標を立てたら、毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定してください。（Rolling Target）また、4半期毎に進捗や達成度の管理を行ってください。

*** クラブセントラルの改造作業用のスケジュールは現在RIに確認中です。**



Rotary



ロータリーの近況について

今、ロータリーの先進国と言われるアメリカを始め日本やカナダ等で会員数が減少し始め、更に会員資格、職業分類、例会の意義等と言った初期のロータリーの基本までも大きく変化してきたように思います。**しかしながら**、ロータリーが変わった、魅力が無くなった、悪くなった等と嘆く前に皆さん、今一度考えましょう！

ロータリーの活動をするのはクラブと会員であってガバナーでもRI理事でもありません！ **皆さんです！**

我々が変えることも、そして良い方向に導く事も可能です。規定審議会等もあります、共に今年度からでも行動しましょう！

宜しくお願い致します。

ロータリーの近況について 2

ロータリーは奉仕団体とよく言われますが、ロータリーで、その心を高められたメンバーが世の中の為に奉仕した結果、世界理解と平和に貢献をしてきたと考えます。

元々ロータリーは、高度な哲学や宗教から出発した訳では無く、人間が本来生まれながらに心の奥に持っている目には見えない精神、即ち他人に役立ちたいという心を発展し、育てて行く事なのでは無いでしょうか？

それがロータリーの原点でありロータリーは人を作る事ではないでしょうか？



ロータリーの近況について 3

本年度RI会長のステファニー・アーチック会長は毎年15万人がロータリーに入会し、16万人が毎年退会している事実を考えて欲しいとの事です。。この16万人の方々は**クラブでの経験に価値**を見い出せていないまま退会している事を考えてほしいと話されています。

その解決の一つの事実として多様性の考えを取り入れて欲しいとの事です。多様性はロータリーの中核的価値観の一つでもあります。

年齢、性別、宗教、政治的信条また異なる視点、異なる考え方を含みます。もし皆さんのクラブが地域社会を反映しているならクラブは真に未来を把握しているといえるでしょう！

もし反映してない場合、それは変化への一つの機会となるでしょう！

ロータリーの近況について 4

ロータリーは何十年もの間、同じ例会モデルを採用してきました。
しかし世界は明らかに変わりましたが、私たちは変わっていませんでした。
今では、eクラブ、パスポートクラブ、衛星クラブ、法人クラブ等様々な
ロータリーに入会し、奉仕する様々な形態そして様々な機会があります。
これらの事を考えた時、ロータリーは繁栄する未来へと向かっていると
実感したとアーチックは話されました。

地区とクラブが行動計画を活用すれば、ロータリー繁栄できると信じて
いますとの事です。それは奉仕と親睦に多くのロータリー会員が参加する
未来です！と話されました。

ロータリーの近況について 5

クラブはそれぞれ異なります。クラブに「こうすれば大丈夫」と保証できるマニュアルは有りません。どのクラブも独自の文化を築いています。国によってロータリーのやり方は異なり、同じ地区でも全く異なるクラブが存在致します。

すべてのクラブが時間を取って評価を行い、行動計画の4つの優先事項（1.より大きなインパクトをもたらす。2.参加者の基盤を広げる。3.参加者の積極的なかかわりを促す。4.適応力を高める。）を確認する必要があります。

私たちは、既存のクラブで人を引きつけつつ、新しいクラブを結成しなければなりません！

それがロータリーを成長させ、未来を切り開く道なのです！

ロータリーへの思い

皆さんご存じの通りロータリークラブは1905年ポールハリスと3人の仲間が創立致しました。それ以来多くの変遷を経て、今日壮大な組織になりました。それ故に多くの組織の融合や方向の転換等が必要になり今日に至っております。

ロータリーの根幹は「超我の奉仕」や「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」の基本理念を基にロータリーの使命である職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて人々に奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することであると記載されています。

ロータリーへの思い 2

我々ロータリアンは特に多くの経歴を経たロータリアンは
今こそ、再度個々の目標を見直し、自己の研鑽に基づいて
更なる心のレベルアップをし、我々の出来る最大限の活動
を期待申し上げます！



• ご清聴ありがとうございました！